

ぼくの大好きなピーマン弁当

根形小学校 四年 岸本 大志郎

「たいちゃん、今日も日本昔話？」

と、夕飯の前におばあちゃんの声が台所から
聞えてきます。

「うーんと、日本昔話！」

と、答えます。

ぼくは、ごはんが大好きです。わかめごは
んやチャーハンも好きですが、たけのこごは
んが一番好きです。大盛りにしてほしいので

いつも日本昔話にしてくださいます。すると、
おはあちゃんはお茶わんから「はんか山の
ように見えるほどよ。そ。てくれます。

そんなやりとりが楽しい夕飯ですが、実は
最高においしいごはんがあります。それは、
お母さんの作るピーマン弁当です。

お弁当の前日に、お母さんはきまっ
て「明日のお弁当、何にする？」

と、聞きます。ぼくもきまっ

て「ピーマン弁当！」

すると、

「またー、よくあきないねー。」

と、笑って言います。

お母さんのピーマンのためは、ピーマンの苦味とたれのごさがぜつみょうです。それが白いごはんと出会うと、パンチがきいていて「ドカーン」とうまさか口のなかではく発します。本当にお母さんのピーマン弁当は、最高です。

家に帰って、お母さんに

「ごちそうさま。」

と言っ、てお弁当を渡すと、「お母さんは、

「ピーマン弁当、おいしかった？」

と、にこにこしながら聞きます。だからぼくは、また作ってほしいので、大きな声で

「うめか、たぞー！」

と、「答えます。」

「また、作る？」

と、聞くので、

「また、作ってよー！」

と、親指を立ててグッドの合図を送ります。
もし、白いごはんがながったら、お母さん
のピーマン弁当は食べられません。おばあちゃん
の「日本昔話のようなおもしろいごはんの
よそり方もできません。」

ほくの家の周りは「田んぼがいっぱいです。
コシヒカリと言うお米を作っているそうです。
おいしくて、近くの「ゆりの里」と言う直売
所でも人気だそうです。農家の方が思いをこ
めて育てているからだと思います。」

農家の方にはこれからも、おいしいお米を
作ってほしいです。ほくもごはんをもりもり
食べて大きくなります。

「お母さん、また、ピーマン弁当作ってね。
「おばあちゃん、また、日本昔話のように
ごはんよそってね。」